

令和6年度 富島高等学校（定時制） 学校評価

教育目標 宮崎県教育基本方針および宮崎県人権教育方針に基づき、己の個性を伸ばす自立の心を育て、信頼と協調により友愛を深め、心豊かな生活をめざして創造力を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。				[学校関係者評価のポイント] ・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 ・自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。		
本年度の重点目標 己の個性を伸ばす自立の心を育て、信頼と協調により友愛を深め、こころ豊かな生活を目指して創造力を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。 ◆スローガン 「全力 TOMIKO!」～地域社会と連携し、新時代を形成するために必要な学校教育の実践～ 「生徒が通いたい学校」 生徒が夢を持ち、安心して過ごすことができる学校 「保護者が通わせたい学校」 保護者が信頼と期待をしてくれる学校 「職員が働きたい学校」 職員がやりがいと成就感を持てる学校 「地域に愛される学校」 基礎・基本を身につけ、地域貢献ができる学校 ◆志を持つ生徒の育成のために (1)「頭」を鍛え、伸ばす(個に応じた学力向上と進路実現) (2)「心」を鍛え、育てる(心の教育の推進と充実) (3)「体」を鍛え、伸ばす(体の育成と食育・健康教育の推進)						
重点目標	評価項目	具体的方策又は具体的指標	自己評価	成果及び改善策	学校関係者評価	評価・具体的意見
(1) 「頭」を鍛え、伸ばす	1 授業力の向上	①個の特性や能力に応じた指導を工夫する。 ②意欲や態度を含めた多面的な評価を推進する。 ③授業公開週間を計画する。	B	個に合わせた学習到達ができるよう対応した。(1年簿記の少人数学級) 授業公開では中学生・保護者、先生、本校の保護者、カウンセラーの来校があった。また、個別に授業公開や学校説明の問い合わせや見学が増えた。公開授業を地域にも広めていきたい。	B	今やっている学習がどこに繋がっているのかを商工会議所職員が話をするなどの協力も考えたい。公開授業は生徒さんにとっても良い経験になると思う。
	2 ビジネス教育の推進	①定期的に一般職及びパート求人を提供し、就業体験を促す。 ②実務代替を推進し、就業先との提携を図ることで、生徒の勤務状況を把握し、必要なアドバイスを行う。	B	職業観を身に付けさせ、将来の人生設計ができるような機会を多く作った。生徒の勤務先を訪問して連携を行った。情報共有が行われ、継続して行うことの重要性を感じている。	B	継続的な取り組みや繋がりができている。
	3 資格取得の推進	①個に応じた資格取得のガイダンスを行う。 ②キャリアパスポートを用いて、生徒自身が自分の資格取得状況を意識できるようにする。 ③資格取得の年間計画を立て積極的に受検するように促す。	B	始業前、放課後を利用して検定や定期考査進学試験対応の個別指導を行った。定期考査前は勉強カフェで学習する雰囲気を作った。年間を通して計画的に行えるよう整備していきたい。	B	定量的に評価できるものが欲しい。学習する環境作りが前進し、次の資格取得の計画的な取り組みにつながると思います。
	4 キャリア教育の推進	①進路ガイダンスおよび社会人講話等を計画的に実施し、進路意識の高揚を図る。 ②キャリアパスポートを利用し振り返りの機会を定期的に与えることでキャリアの蓄積を意識させ形成を促す。	B	年間を通して進路ガイダンスや講話が行われ、生徒のニーズに合った進路指導が実践された。公務員講座を開き、良い成果を残すことができた。	B	年間を通して行うことにより、意欲の継続、関心の喚起ができている。先生方も工夫しながら生徒さんのニーズに合った指導をされていると思う。社会から必要とされるキャリア教育を期待します。
	5 ICT教育の推進	①ICTを用いた授業改善を積極的に行う。 ②ICT活用のための職員研修、情報の共有を積極的に行う。	B	各教室での授業では ICT の活用が増えてきている。一人一台端末での授業も進み、ほとんどの授業でICT機器が使用されている。教材については教員同士で情報を共有できるようになった。	B	未達の生徒については中学校との連携を考えたい。
(2) 「心」を鍛	1 基本的生活習慣の確立	①時間厳守の徹底・挨拶の励行。 ②正しい言葉遣いを身につける。 ③規範意識を確立させる。 ④美化意識の高い生徒を育成する。	B	時間を守ることは身につけている。挨拶も元気よく行える。清掃活動も熱心である。正しい言葉遣いができるよう会話を多く持つ機会を作った。	B	コミュニケーション能力は社会でより重要になってきます。

え、育てる	2 持続可能な社会の形成に参画できる教育の推進	① 学校内の様々な活動を通して、社会の変化に主体的にかつ柔軟に対応できる生徒の育成を図る。 ② 定期的に研修を行う。	B	市議会訪問や講話等の機会では、生徒主導で運営等を行った。総合的な探究の時間を利用して、地域について調べ学習が継続的に進められるような取り組みが定着した。	B	主権者教育は必要だと考える。
	3 命を大切にしている教育の推進	① 平常指導による危機回避の育成を図る(特に登下校時)。 ② 避難訓練(年2回)、交通安全教室の実施し、安全教育を徹底する。 ③ 「命を大切にしている週間」期間中に講演会を実施する。 ④ 救急法講習会、薬物乱用防止教室を実施する。	B	命を大切にする教育のための講話や訓練を行った。外部講師からの助言等を受け改善できた。年間を通して災害に対して判断や対応ができるよう計画的に行った。	B	退学数や留年数はどうだろうか?生徒たち自身の心が鍛えられ、学び続けられているか数値的なものが知りたい。
	4 スクールリーダーの育成	① 生徒会活動で、主体性やリーダーシップを育成し、学校生活の充実をはかる。 ② 各種委員会で、生徒の主体的な取り組みを推進する。 ③ 部活動において、生徒による自主的な運営を行う。	B	生徒会は自主的に多くの時間を作り、行事を運営した。部活動については、定通大会のバドミントン競技で団体優勝した。	B	生徒の自主性創出ができています。時間を生み出す努力が素晴らしいです。優勝もすごい!
	5 特別支援教育体制の充実	① 職員研修会・月1回のサポート委員会での情報共有をはかり、生徒理解に努める。 ② ハートサポーターによる個別面談を実施する。 ③ 関係機関との連携し、生徒・保護者のサポートを行う。 ④ 臨床心理士による年間最大20回の訪問で生徒、保護者、職員が安心して学べる環境を作っていく。 ⑤ 個々の生徒に対応できるような研修を計画的に行う。	B	サポート委員会や個別会議、ケース会議を定期的に行った。月1回来校する臨床心理士への相談も定着しつつある。相談の計画が生徒の体調不良等の関係でできなかったこともあり、調整が難しいところである。週一回の絆カフェが2年間継続して行われ、生徒の居場所や相談等ができる環境が整っている。	B	絆カフェの運営・管理は誰がやっているのかを知りたい。心が不安定な生徒さんが相談できる環境作りができていないことが素晴らしいと思います。少しでも良いきっかけにつながり学習意欲が向上するまでになって欲しいです。生徒の言動や、その生徒の周りの様子で気づく困りごともあった。おしゃべりがてらの相談が気軽にできた。先生方も来室され、授業前の生徒連絡等に有効であった。
	6 豊かな心の育成	① 学校行事を通して自他の生命を尊重する態度を育成する。 ② 体験活動の取組みを推進する(花壇作り、陶芸教室、体験発表等)。	B	体験活動ではクラス一丸となり協力体制やコミュニケーションが多くとれた。体育祭を実施して、生徒が主体的に活動した。多くの保護者も来校した。	B	
	1 健康教育・安全管理の充実	① 生徒全員の健康診断を実施し、健康診断結果の事後指導を行う。 ② 教育相談・保健相談活動の充実を図る。 ③ ハートサポーターによる個別教育相談、養護教諭による健康に関する面談を行う。	B	日々の検温、健康観察を継続して行うこと、健康診断を計画的に行った。学校居場所カフェを週1回開催することができ、多くの生徒とのコミュニケーションがとれるようになった。教育相談室の整備の必要である。	B	
(3) 「体」を鍛え、伸ばす	2 個性の伸長	① 部活動や特別活動を通して、生徒一人一人の個性の伸長に努める。 ② ホームルーム活動や特別活動時に生徒の得意とする分野を生かした役割分担を行う。③ 部活動において、生徒による自主的な運営を行わせ、リーダー力を伸ばさせる。	B	個々の違いを認めつつ、それぞれにあった指導や対応ができていない。積極性が足りない生徒が多いため、多くの場面で積極的に活動できるような仕掛けを行った。学校行事等、上級学年のリーダーシップで運営できた。	B	個別の対応ができていない。 定時制も大切な選択肢の一つであることをアピールしてほしい。
	3 生涯にわたる健康の保持増進のための教育	① 保健体育の授業、部活動・特別活動、健康教室を通して生涯にわたる心身の健康保持について意識を高めるとともに、生徒の体力向上に努める。	B	部活動を熱心に取り組む生徒が増えた。効果的な講話等を行うことで、健康管理や体力の向上が年間を通して意識づけられている。	B	朝ご飯、睡眠など具体的な生活習慣の改善はデータがあるのでしょいか

※ A: 十分達成 B: 概ね達成 C: 検討の余地あり D: 不十分